

た	の		：	ら	際	男	こ	男	性		し	会		本	「	ら	る					「
。	会	し	「	な	、	女	の	性	7		て	社		当	女	れ	と					「
そ	社	か	と	か	男	差	資	の	、		い	で		に	は	、	私					男
の	の	し	思	っ	女	別	料	採	女		ま	は		そ	差	、	は					女
理	採	、	い	た	差	だ	だ	用	性		す	は		う	別	男	男					差
由	用の	こ	ま	私	別	二	け	者	3		が	、		で	を	女	女					別
と	の	の	し	も	と	一	だ	数	ぐ		多	こ		し	受	の	に					「
は	し	と	を	、	い	と	と	が	ら		い	こ		よ	け	多	つ					に
、	か	を	よ	「	う	思	、	分	い		で	と		う	て	く	い					っ
女	た	く	く	こ	言	う	ほ	か	す		す	。		か	い	は	、					つ
性	に	調	調	れ	葉	だ	と	と	。		。	圧		。	る	、	女					い
特	も	べ	べ	が	の	ら	ん	分	。		倒				「	性	性					て
有	、	て	て	男	意	う	ど	り	。		的				と	か	が					
の	理	み	み	女	味	思	の	ま			に				い	男	。					
内	由	る	る	差	さ	い	人	し			ビ				う	性	。					
容	が	と	と	別	え	ま	が	た			ジ				も	側	。					
で	あ	、	、	な	よ	す	一	。			ネ				の	に	。					
す	り	こ	こ	ん	く	。	こ				ス				で	対	。					
。	ま			だ	分	実	れ				を				し	し						
も	し			：	か		は				男				た	て						

例	う	に	別		な		ま	れ	女		取	ま	間	は	暇	り	そ	あ	こ	し
え	差	も	さ	女	場	し	し	に	性		る	す	で	世	を	ま	り	こ	と	も
ば	別	、	れ	性	合	か	た	は	で		確	。そ	結	界	取	し	そ	と	や	女
、	も	「	る	で	が	し	。	き	あ		率	のた	果	的	る	。す	、	、	、	性
「	あ	男	な	あ	あ	、		ち	る		が少	が	な	研	割	る	所	産	そ	が
女	る	性	ど	る	る	こ		ん	た		ない	変	究	を	合	と	前	の	の	結
子	こ	差	、	た	こ	れ		と	め		男	化	を	し	が	、	産	休	ま	婚
大	と	別	女	め	と	以		し	に		性	し	て	多	女	後	暇	ま	し	た
学	が	「	性	、	が	外		た	差		の	、	い	い	性	休	を	続	た	場
「	分	と	差	会	分	に		わ	別		採	明	る	う	は	取	け	合	、	合
が	か	い	別	社	か	も		け	が		用	暗	た	こ	男	る	も	、	こ	の
あ	り	う	と	で	り	ま		が	あ		率	を	め	と	性	こ	妊	こ	の	会
る	ま	、	い	の	ま	し		あ	る		が	分	、	で	に	娠	社	の	社	を
の	し	男	わ	昇	た	。		こ	よ		高	け	、	す	比	す	を	を	辞	め
に	た	性	れる	給	。			と	う		い	る	、	。	べ	る	可	能	性	が
、		だ	もの	・				が	で		の	こ	、	こ	、	性	が	が	可	能
日		か	の以	昇				分	す		で	こ	、	こ	、	、	、	、	、	、
本		ら	外	進				か	が		す	こ	、	こ	、	、	、	、	、	、
で		と		で				り	、		、	こ	、	こ	、	、	、	、	、	、
		い		差				、	そ		、	こ	、	こ	、	、	、	、	、	、

は「男子大学」というものが存在しないこと、契約制客室乗務員は事実上女性だけが対象であるなど、男性に対しての差別が多いという。私も分かりました。私は、女性に対する差別がほとんどだと思っていました。男性も同じくらい差別を受けていることが分かりました。した。このことに気づいて良かったと思います。今まで、差別を考えたことはなかったけれど、少し深く調べただけで、その会社ではなぜ女性が採用されにくいかなど、私自身納得できる理由が見つかったからです。男性差別についてもです。女性差別はテレビや新聞などで大きく取り上げられるのに対し、男性差別は調べてみないと知らないものばかりです。男女差別を解決するには、まず、女性差別だけでなく、男性差別も知ることが大事です。でも、この「男女差別」を解決するのは想像以上に難しいと私は思います。この差別があるからこそ、会社に利益がもたらされ、そこで救われる人

もいて、今のバランスが保たれているのだとも思いますが。男女差別はなくすべきだと思います。調べていくうちに、あのままのになりました。すべての人が「これは男女共に平等だ」と思うことは無理だと思ったからです。

多くの人が、「男女平等だ」と思う方法を見つけるために、男女差別について、本やインターネットなどで調べて理解していきたいです。すごく時間がかかると思いますが、「男

女差別」を「差別」ではなく、男性・女性の「強み」にできるように、少しずつ行動していきたいし、それによって、周りが変化するように働きかけていきたいです。